

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	2024年 10月 15日 ～ 2024年 10月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名	(回答者数) 16名
○従業者評価実施期間	2024年 10月 10日 ～ 2024年 10月 25日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業所向け自己評価表作成日	2024年 10月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	毎日様々な集団活動があり、小集団の良さを生かした心豊かな経験を楽しみながら5領域の成長につながる支援をしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な活動をバランスよく取り入れ、達成感や自信がつくようお子さまに合わせた難易度調整で支援している。 ・学童期に大切な幅広い経験（製作・ルールのある遊び・身体使い・SST・自己表現・季節に合わせた自然体験、クッキング、工場見学、公共交通機関の乗車体験等） ・SST等みんなで考え話し合う機会や意見発表の機会を設け自己表現・協調性・社会性を支援している。 ・長期休みはクッキング、公共交通機関の乗車体験、工場見学等の社会性が身につく貴重な体験を取り入れている。 ・自然体験や買い物体験の協力を通して地域の方と交流を図りまわりの理解につなげている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在お子さまの希望を自由に入れられるリクエストBOXを設置している。今後さらに活用し主体的な活動にしていく。 ・SSTの話し合いの内容を家族にも伝えたいと希望があり、それを見たご家族からも良い反響あり。今後、話し合いの司会や書記も経験できるよう工夫していく。 ・今後も地域の方の協力を感謝し、さらに交流を図り理解を深めてひまわりと地域の連携の輪を広げていきたい。
2	長年の小児療育の経験を持つ作業療法士が在籍し、たくさんのアドバイスがもらえる。 活動や支援にも作業療法の視点や感覚統合療法を随所に取り入れ、特性があるお子さまに合わせた支援によりお子さまの成長が大きく、ご家族の相談にも専門的アドバイスができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・作業療法や感覚統合療法の視点やねらいを日々の活動・支援・遊びにふんだんに取り入れている。 ・活動内容や支援方法について、職員間で相談したりアドバイスをもらい活かすことができる。 ・アセスメント・個別支援計画・モニタリングにも反映され、より良い支援やお子さまの成長につながっている。 ・ご家族のお悩みに対して丁寧に傾聴し、作業療法の専門的な視点からも分析・アドバイスし相談に乗っている。 ・文字や時計が読めないお子さまにも理解できるようイラスト等の視覚的支援や特性があっても落ち着けるような環境の構造化等の校舎作りにも活かされている。 	左記のさらなる充実を図る。 新たに入職した職員にも適宜研修をし、職員全員が支援の質を保ってお子さまをサポートできるよう、今後も研鑽する。
3	きょうだい含めご家族から理解や信頼が厚く、ひまわりに感謝の声をたくさん頂く。 保護者会や親子参加イベントを企画・実施している。	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の連絡帳や送迎時に様子や成長をお伝えし、保護者の方から相談しやすいよう心掛け対応している。 ・保護者会や家族参加イベント・研修会を企画し、スライドショーで日々の様子や支援のねらいをお伝えしたり、作品や写真を掲示して送迎時にも見てもらっている。 ・ご家族参加イベントではきょうだい含めご家族にひまわりの活動や支援体験をして頂き楽しみながら理解を深めることができた。保護者の横のつながりの機会を提供をしている。 	今後もお子さまの成長の一助を担えるよう、またご家族の理解と信頼を得られるよう、丁寧に対応していく。 今後もニーズに合わせて保護者会や家族参加イベント等を企画・開催し、家族みんなで、ひまわりに通うお子さまやひまわりを応援してもらえる事業所を作っていく。
	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用するお子さまや学年・小学校数が増えたことにより、小学校へのお迎えの便数の増加や児童指導員不足に対応しきれない時もある。	学年により下校時間が違うため、現在市内の全小学校にお迎えの便を出すことができていない。	<ul style="list-style-type: none"> ・効率良く小学校へのお迎えができるよう、来年度の下校時間や利用曜日の確認・調整をすることも検討していく。 ・児童指導員の確保
2	外部への十分な発信	日々、ねらいを持った充実の支援を行っているが、外部への十分な発信まで至っていない。 お子さまやご家族の評判や口コミに助けられている。	今後も保護者会、月1回のインスタグラム投稿、お便りの発行を継続していく。 ご家族の口コミや横のつながり、関係機関との連携等、今後もひまわりに関わってくれている方からの発信に感謝し大切にしていく。
3			